

情報連絡員報告・3月分

製造業、非製造業ともに売上高DIが改善

～多くの業界で原材料の値上げが深刻な問題に～

<東京都中央会>

3月の情報連絡員報告によると、製造業・非製造業ともに売上高DI（前年同月比）が2月より改善（製造業 3.1ポイント、非製造業 5.9ポイント）した。特記事項として多くの業界から原材料の値上げが深刻な問題となり、製品価格への転嫁を検討せざるをえなくなっている現状が報告された。また前月から引き続いて、東京都が開設する「新銀行東京」に対する期待の報告が寄せられた。製造業65人、非製造業85人、計150人の集計。

<特記事項欄より>

製粉＝パスタ関連の輸入は増加、パン・

麺類は前年を下回っている。

弁当製造＝卒業式シーズン、行楽シーズンが迫り、単発的な受注が増えた。

帽子製造＝花粉症対策の必需品としてツバの深い帽子がよく売れている。

光沢化工紙製造＝資材値上げの本格的な実行が大きな不安要素となっている。

正札シール印刷＝少しのミスが永年の取引関係を終了させる。価格以外でもシビアになっている。

塗料工業＝溶剤やその他の原料も2次、3次の値上げ攻勢の気配あり。

石油工業＝原油価格高騰による大幅なコ

スト上昇は製品価格への転嫁を余儀なくされている。

自動車タイヤ商工＝取引条件は厳しくなっているが、売上高、収益条件はわずかだが改善している。

鋸螺釘工業＝自動車関連、造船や工作機械関係が好調なようだが、材料の値上げとコストダウンの要請が収益性を悪くしている。

鍍金工業＝特定有害物質規制への対応とそれによるコスト増が問題となっている。

電線工業＝マンション建設やショッピングモールの新設・補修等の需要はあるものの収益性が悪く赤字に転落する企

業が増えている。

圧接業=年度末に向けて工事が動いており、稼働率が上がっている。価格的には横ばい、もしくは下降気味。

食肉業務用卸=牛肉トレーサビリティ(生産・流通の履歴) 原産地表示が経営に多大な圧迫を与えている。

工業用ゴム製品卸=販売価格は上昇するも売上高の減少、仕入価格の上昇で収益状況はむしろ悪化している。

豆腐商工=大豆の生産地が災害に見舞われ、収穫量の大幅な減少により価格が高騰している。

自転車商業=需要期だが2週間程度おくれ気味。寒さと天候不順の影響がある。

電気機器販売=今年の春の需要は花粉の

影響が大きく、花粉症対策機器が売れている。

<要望事項欄より>

*新銀行東京の動向と東京都のスタンスを詳しく知りたい。 [印刷業]

*引き続きの景気対策と原材料価格上昇への対策を望む。 [鉄螺釘工業]

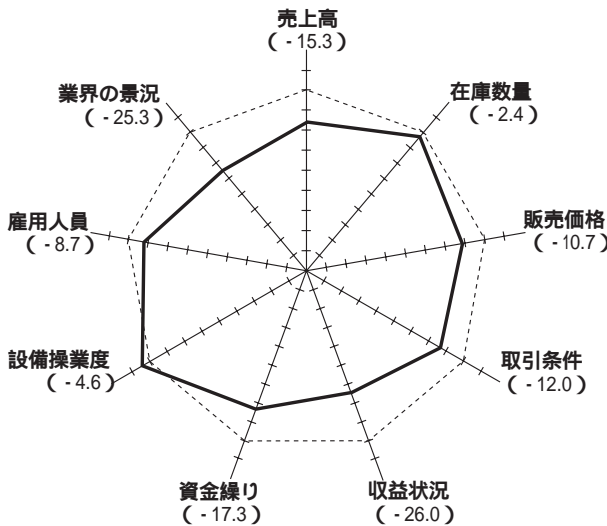
*過去の汚染の責任を負担させる土壌汚染対策は小零細事業所には過酷である。 [鍍金工業]

*景気は「踊り場」にある。多少なりとも減税をお願いしたい。 [建築金物]

*大豆の安定供給ができるように作付面積を増やし、豊作の年には備蓄するなど、行政の指導をお願いしたい。

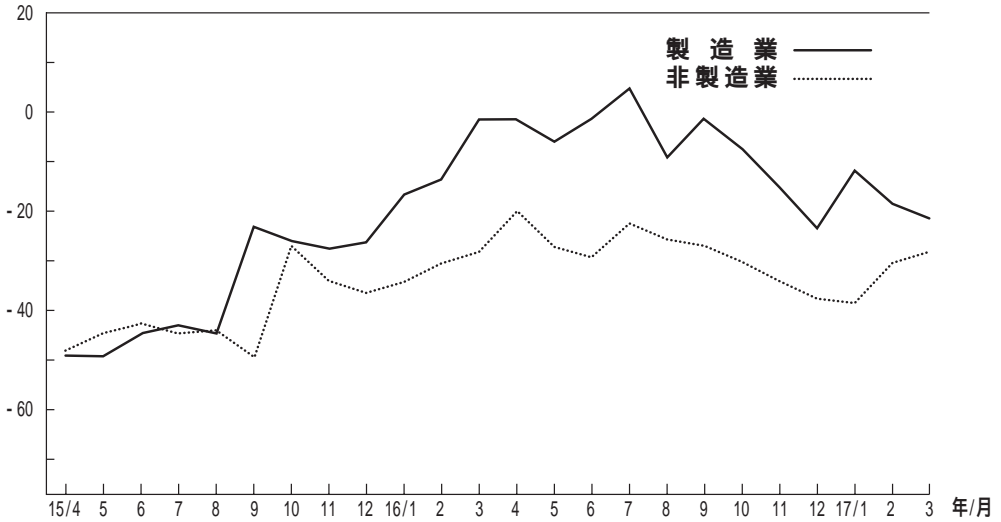
[豆腐商工]

3月のレーダーチャート(全産業、前年同月比DI値)

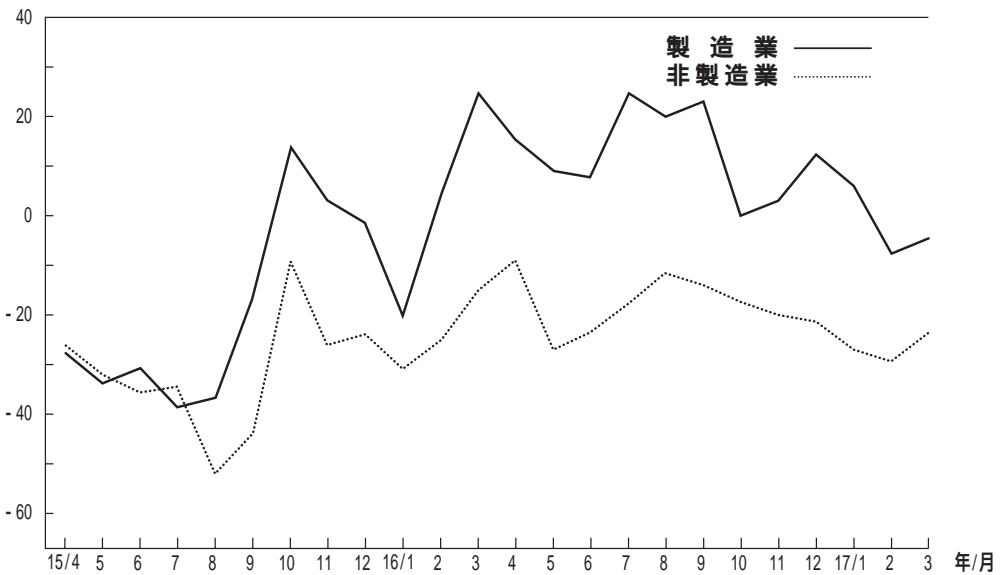


(注)点線の9角形が「DI = 0」を示す。したがって、点線の内側は「減少」「低下」「悪化」、外側は「増加」「上昇」「好転」となる。

業界の景況DIの変化 (H15.4 ~ H17.3)
(前年同月比)



売上高DIの変化 (H15.4 ~ H17.3)
(前年同月比)



(注)DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。